

【重要】日本文学科新入生の皆さん

※4月6日（月）に皆さんに、日本文学科から文書その他を配送いたしました。

この「お知らせ」は、その中に同封した「日本文学科1年生ガイダンスのお知らせ」とほぼ同じ内容ですが、一部、変更箇所があります。下線部分に変更箇所です。4月14日訂正箇所は赤字部分です。

※なお、4月6日（月）発送の荷物が4月15日（水）までに届かない場合には、以下の日時に日文・国文共同研究室まで電話で連絡してください。

4月15日（水） 11:00～14:00

電話：03-5275-6028（日文・国文共同研究室）

※大妻女子大学 HP のトップページの「重要なお知らせ」で、ガイダンス日程「日本文学科 PDF」を掲載する予定でしたが、manaba の「コースニュース」でのお知らせに変更となりました。

※ここでは、「学科ガイダンス」「クラス別ガイダンス」の代わりに、日本文学科の1年生の皆さんにとって大変重要なことをお伝えいたしますので、よく読み、確認してください。

（1）クラス指導主任（担任）紹介

- ・皆さんはA・Bどちらかのクラスに分かれています（学生証記載）。このクラスは4年間変わりません。
- ・下記の先生が、この1年間のクラス指導主任（担任）です。
1 A：君嶋 亜紀 先生 1 B：増野 弘幸 先生
- ・A・Bは、さらに3つの小クラス「い」「ろ」「は」に分かれます。これは、少人数で行う必修科目を履修する際のクラスです。下記の学籍番号表で自分のクラスを確認してください。
Aい：121020101～121020123 Bい：121020201～121020222
Aろ：121020124～121020145 Bろ：121020223～121020244
Aは：121020146～121020167 Bは：121020245～121020266

（2）日本文学科履修登録上の注意点

- ・別便で郵送された『大妻女子大学 履修ガイド 2020』をよく読んでください（『履修ガイド』は下記の通り大学HPでも閲覧できます）。
大妻女子大学HP「学部・短大・大学院」→カリキュラム・学習「履修ガイド」→2020年度入学生「家政学部・文学部・社会情報学部・比較文化学部」
- ・特に履修登録については、「2. 学習について」（p.45～）のうち「大学で学ぶためには」「履修登録・受講者調整」と、「3. 教育課程について」（p.85～）のうち「全学共通科目・文学部」「専門教育科目・文学部・日本文学科」が重要です。
- ・大学では、**時間割は自分で作ります**。
- ・最初に1年間履修する科目を自分でWeb登録しなくてはなりません（4月20日（月）～24日（金）：UNIPA利用）。UNIPAの利用の仕方について説明する冊子は、4月6日（月）の発送物の中にあります。

■卒業要件表（『履修ガイド』参照）

- ・皆さんは卒業するために4年間で125単位を取得する必要があります。
- ・その125単位は、「全学共通科目」の37単位と「専門教育科目」の88単位の合計です（『履修ガイド』p.50）。
- ・1年間に登録できる上限単位数は決まっており、日本文学科の1年生は39単位です（『履修ガイド』pp.52,53）。

■1年生の皆さんが必ず履修しなければならない科目

- ・日本文学科の専門教育科目の卒業要件表（pp.116,117）を見てください。
「配当年次」の欄に「1」と書かれているものが、1年生に関係する科目です。
- ・必修科目の「基礎ゼミⅠ」から「変体仮名読解」までの12科目24単位はクラス指定されています。このうち、「基礎ゼミⅠ」「日本古典文学入門」「漢文学入門」「変体仮名読解」の4科目は事前に登録されています（自分で登録する必要はありません）。「〇〇概説」8科目については、自分のクラス（AまたはB）の科目を自分で登録してください。
- ・以上の必修科目12科目は、必ず履修しなければならない科目です。

- ・続いて、全学共通科目の文学部の卒業要件表（pp.88,89）を見てください。
「配当年次」の欄に「1」と書かれているものが、1年生に関係する科目です。
- ・「日本文学科」の欄に「必修科目」とあるものは、その年次に必ず履修しなければならない科目、「選択必修科目」とあるものは、その範囲（赤線）の中から決められた単位数（数字で記してあります）を選んで必ず履修しなければならない科目、「選択科目」とあるものは、その範囲の中で自由に18単位を選んで履修する科目です。
- ・このうち、1年生の皆さんは必修科目の「大妻教養講座」（1単位）・「英語ⅠA・ⅠB」（2単位）の計3単位を必ず履修しなければなりません（自分で登録する必要はありません）。
- ・また、選択必修科目の「日本語A・B・C」（各2単位）のいずれかひとつを選んで、必ず履修登録してください。「A（文章表現）」「C（読解）」は配当年次が1年生のみです。「B（口頭表現）」は2年次にも履修できますが、抽選漏れ等で履修できなくなる可能性もありますので、1年生のうちに「日本語」2単位を必ず取得しておくようにしてください。
- ・「日本語」は、同じ名前の授業（たとえば「日本語A（文章表現）」）が複数開講されていますが、曜日・時限が異なると、担当教員や授業内容も異なります。「シラバス」や「時間割」をよく確認して、各自で1つを選んで必ず登録してください。

■上限単位数までどのように履修登録するか

- ・ここまで説明してきた科目の合計単位数は29単位、上限までの残りは10単位です。
たとえば、「全学共通科目」の「選択必修」科目から8単位、「選択」科目から2単位を選ぶなど、各自で考えて登録するとよいでしょう。

■標準履修単位数はあくまでも「目安」

- ・日本文学科の標準履修単位数が『履修ガイド』のp.53に記載されていますが、自分の登録単位数がこれと多少異なっても大丈夫です。

■履修登録する科目は、シラバスで授業概要を確認した上で登録しましょう

- ・登録した科目は途中で放棄せず、必ず履修することを心がけてください。

■4月29日（水）に登録できているかどうかを必ず確認

- ・登録完了しても、選択必修科目・選択科目は希望者が多い場合には抽選となります。
- ・4月29日（水）の登録結果を確認して、抽選に漏れていた場合は、4月29日（水）～5月1日（金）に追加登録をしてください。追加登録はUNIPAからできます。

- ・その結果は5月6日（水）に発表されますので、必ず確認し、抽選に漏れていた場合は、5月6日（水）・7日（木）に第2回追加登録をしてください。（その結果は5月13日。）
- ・どうしても「日本語A・B・C」の登録ができない場合は、2年生の時に「日本語B」を履修すれば大丈夫です。

■全員5月6日（水）に時間割を確認

全員、5月6日（水）に時間割を確認してください。なお、エラーや要件不足があった場合の、5月6日（水）・7日（木）に大学に出校して行う修正登録はできなくなりました。

■『履修ガイド』にはQ&Aもあります。また、以下の（7）記載のHPブログの「日本文学科でよくある質問」、UNIPA掲載の『履修登録の手引き』も参照してください。

（3）電話履修相談のお知らせ

上記の「日本文学科履修登録上の注意点」と入学時に配布された『履修ガイド』、UNIPAに掲載されている『履修登録の手引き』等を熟読して、各自で4月20日（月）から4月24日（金）の間に履修登録を行ってください。エラーが出て登録できないなど、履修上の相談がある場合は、日本文学科の教員が下記の日程で電話による履修相談に応じます（登校はできません）。

4月22日（水）12:00～14:00 電話：03-5275-6028（日文・国文共同研究室）

※相談の際には、入学時に配布された『履修ガイド』と、自分で作成した時間割を手元に用意しておくこと。

（4）今後の主な予定と注意点

- ・Web履修登録：4月20日（月）10:30～4月24日（金）23:59
※毎日午前1:00～10:29はメンテナンスのため受付休止。
- ・授業開始：5月7日（木）「緊急事態宣言」が解除され、出校可能な状況であれば、各自の時間割に沿って、教室に行ってください。
- ・5月の「基礎ゼミⅠ」の初回授業時に提出書類（個人カード）を持参してください。また、当日はロッカーキー等、重要な配布物があります。
- ・5月初回の「基礎ゼミⅠ」は以下の通りです。
 - （Aい）倉田 実 先生：火曜2限 5月12日
 - （Aろ）君嶋 亜紀 先生：金曜2限 5月8日
 - （Aは）木戸 雄一 先生：月曜2限 5月11日
 - （Bい）井原 あや 先生：金曜2限 5月8日
 - （Bろ）須田喜代次 先生：火曜1限 5月12日
 - （Bは）増野 弘幸 先生：金曜2限 5月8日※体調不良の場合は、無理に授業に出席しないこと。
- ・5月7日（木）以降も出校不可能な場合には、「遠隔授業」となります。その場合の対応については、**（5）**を参照してください。

（5）5月7日（木）以降も出校が不可能な場合の対応について

- ①新型コロナウイルスの感染拡大により、5月7日（木）の授業開始後も出校が不可能となることも想定されます。その場合、授業はオンライン授業や、manaba を用いての授業となりますので、履修する授業が確定したら、manaba にログインして受講する授業の画面や大妻メールのお知らせを必ず確認し、

遠隔授業の受講（自宅での授業を受けること）ができるように準備してください。

②5月7日（木）の授業開始後も来校が不可能な場合、「基礎ゼミⅠ」の授業内でクラス別ガイダンスを行うのではなく、manabaのクラス用コースでさまざまなお知らせをしますので、必ず確認してください。

（6）クラス委員の選出について

別途、一斉メールのお知らせ、クラス用コースのコースニュース「クラス委員についての連絡」を確認してください。

（7）お問い合わせについて

日文・国文共同研究室へ電話で問い合わせることのできる日時は以下の通りです。

4月15日（水） 11:00～14:00

4月22日（水） 11:00～16:00

電話：03-5275-6028（日文・国文共同研究室）

（8）4・5月の学科からのお知らせについて

- ・今後、日本文学科からの4・5月の重要なお知らせは、manaba クラス用コースの「コースニュース」、大妻 Web メール、UNIPA のほか、大学 HP 日本文学科サイトの「新着情報ブログ」のカテゴリー「日本文学科のお知らせ」でも配信します。

大妻女子大学 HP 「学部・短大・大学院」→「文学部」→「日本文学科」→「学科サイトへ」→「新着情報ブログ」→「日本文学科のお知らせ」

<http://www.lit.otsuma.ac.jp/japaneseblog/>

- ・また、大妻女子大学 HP トップの「重要なお知らせ」にも注意してください。

※以上です。皆さんと会えることを、教員一同楽しみにしております。

どうぞ健康にお気をつけてお過ごしください。

日本文学科